

開設講習名	【選択】漢文講座		講師	南部 英彦	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 12 月 2 日		時間数	6 時間	受講予定人数 40 人
受講者募集期間	平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日		履修認定時期	平成 30 年 1 月 15 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校教諭, 中学校・高等学校国語教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
【到達目標】 漢文資料への知見を深め、かつ、漢文読解力を高める。					
【講習の概要】 中唐時代を代表する文章家の一人である柳宗元による複数の作品を取り上げ、その読解を試みる。柳宗元は、「○○伝」という形式を用い、特定の人物の仕事の形態に託して、現実社会への批判や彼の抱く為政者観等を表現している(「○○説」と称する作品の中にもこれに準ずるものがある)。 講習では、そうした「伝」「説」の内容を適宜おさえながら、それらの作品にこめた柳宗元の主意は何処にあるのか、またそこにはいかなる思想的な特徴が認められるか、といった事柄について、主に解説を加えてゆく。 ◆講習では以下の 5 項目を立てて話を進める予定である。 1. 柳宗元の生涯(韓愈「柳子厚墓誌銘」より) 2. 苛政への批判(柳宗元「捕蛇者説」より) 3. あるべき交際の在り方(柳宗元「宋清伝」より) 4. あるべき統治の在り方(柳宗元「種樹郭橐駝伝」より) 5. 天と人とは関係するか(柳宗元「天説」より) * 漢文資料は、訓読文(できるだけ既刊のもの)を主に用い、併せてそれに対応する原文を示すようにしたい。 * 講習中、制限時間の範囲内で、適宜発問を行うなどして、内容理解の深化を図りたい。					
【評価の方法・評価基準】 評価の方法: 筆記試験 評価基準: 合格: 漢文の内容を、的確に把握できるか。 不合格: 上記以外。					
【テキスト・参考文献】 事前にテキスト(資料)を配布予定。参考文献は講習中に紹介する。					
【受講者への伝達事項】 特になし。					